

第3学年 国語科学習指導案

平成28年3月1日(火) 4校時
3年1組(男子9名 女子11名 計20名) 本時 4/11
授業者 池谷 康史

- 1 **単元名** 人物の行動や会話から、どんな人物かを想像して読もう
教材名 「モチモチの木」(東京書籍3年下)

2 単元の目標

- 「人物ファイルカード」で物語を紹介することに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)
- 叙述を基に、人物の性格や気持ちを想像しながら読むことができる。(C 読むこと ウ)
- 自分が考える人物像や感想を伝え合ったりして、それぞれの感じ方に違いがあることに気付くことができる。(C 読むこと オ)
- 長い間使われてきた慣用語の使い方を知り、使うことができる。(伝国(1)ア(イ))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元は、小学校学習指導要領国語の第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」と「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。」を具体化した『「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介しよう』という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「人物ファイル」は、同じ作者の別の作品について、登場している人物がどんな人物かを叙述を基に書き表したものである。本教材は、中心となる人物である豆太の成長が描かれており、臆病な豆太が、じさまの病気に際し、一人真夜中の道を医者様を呼びに行く。そこで、勇気のある子どもしか見られない山の神様のお祭りを見るという物語である。この豆太の行動や気持ちは、語り手による温かい民話調の言葉で語りかけるように表現されている。また、作者の語り口調の中にも豆太からの視点がいくつも書かれている。ここからも豆太の人物像を想像しながら読むことができる。付けたい力(C 読むこと ウ)に向かって、人物の気持ちの変化や人物像を読み取り、表現するのに適した教材であるといえる。「人物ファイルカード」には、事件や物語の展開をとらえる「あらすじ」、会話や行動などから登場人物の性格を想像する「登場人物の紹介」、想像した性格について自分と比べながら考える「感想」などのパーツで構成する。「登場人物の紹介」のパーツは、自分が「すごいな!」、「好きだな!」と思った登場人物について、「性格」と「その根拠となる叙述」を書く。この「人物ファイルカード」を作る活動を通して、「叙述を基に、人物の性格や気持ちを想像しながら読むことができる。」(C 読むこと ウ)が実現できると考えられる。また、自分と違った斎藤隆介の作品を選んだ友だちとの交流、自分と同じ斎藤隆介の作品を選んだ友だちとの交流をすることで、「自分が考える人物像や感想を伝え合ったりして、それぞれの感じ方に違いがあることに気付くことができる。」(C 読むこと オ)も実現できると思われる。

(2) 児童観

児童は、4月の「すいせんのラッパ」で場面の様子が分かるように音読することを学習し、音読発表会を開いた。それ以来、物語文では場面の様子を思い浮かべ、地の文と会話文を意識しながら音読をする児童が増えた。6月の「ゆうすげ村の旅館」では、物語の中で起きた出来事をたしかめながら、登場人物や時間、場所に注目して起きた出来事を確か

め、物語のしかけにつながる言葉を探し、その言葉を使って物語クイズを作って交流した。10月の「サーカスのライオン」では、中心となる人物の気持ちの変化を読み取り、「ぐぐっとリーフレット」にまとめ、読んで考えたことを紹介し合う学習を行った。12月の「はりねずみと金貨」では、物語の出来事を捉え、大事な言葉に注意してあらすじをまとめ、本の紹介カードを書く学習を行った。児童の実態としては、叙述を基に人物の性格や気持ちを想像する力に個人差があり、文章で表現しにくい児童がいる。交流の場でも、自分の考えと比較しながら相手の考えを聴くことについても個人差がある。また、標準学力調査の結果を見ると、物語の内容を読み取ることに、時間的な順序、事柄の順序を考えながら、場面の様子を読み取ることに弱さが見られた。

そこで、本単元では「人物ファイルカード」を作成する活動を通して、挿絵・叙述も基に場面の移り変わりに注意しながら、登場人物（豆太、じさま、医者様）の性格や気持ちの変化を読み取らせていきたいと考える。授業者が選んだ並行読書の7冊の本を全ての児童が読んでいる状態を作り、交流の際に自分の考えと比較させやすい環境を整える。さらに、この学習は第4学年3月の「木竜うるし」の学習へとつながっていくため、読みによって表現する力をつけていきたい。

(3) 指導観

第一次では、言語活動のモデル「人物ファイルカード」（名前を見てちょうだい）を見て単元のゴールイメージをつかむとともに、読書への意欲がもてる導入とする。そして、並行読書の中からお気に入りの物語を選び、『「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介しよう』という学習のめあてをつかませる。また、授業者が選んだ「モチモチの木」以外の斎藤隆介の作品（「花さき山」「八郎」「半日村」「三コ」「ひばりの矢」「かみなりむすめ」「ふき」）を並行読書として取り組ませ、第3次の交流までに全ての児童がどの作品も読んでいる状態を作る。読んだ物語については、並行読書記録カードに「物語の評価」「中心人物は誰か」「その性格」を記入させ、「人物ファイルカード」を作る上での材料になるようにする。これは、第3次の交流の際に活用させる。そして、「モチモチの木」に出てくる慣用句にも触れ、並行読書する中で慣用句が使われているところはないか、意識させて並行読書を行わせるよう仕組んでいく。

第二次では、「モチモチ」の木の登場人物の設定や状況を捉え、豆太・じさま・医者様がどんな人物なのか行動や会話文など叙述を基に想像して読んでいく。同じ叙述を選んでも登場人物がどんな人物なのかを表現する場合、また登場人物がどんな人物か同じ表現で表わしていても根拠となる叙述が違う場合など、ペア交流・全体交流を行う中で自分と友だちとの共通点や相違点に気付かせ、物語を読むだけでなく、読み味をえるようにしていく。そして、お気に入りの物語の「人物ファイルカード」をまとめる活動につなげていく。

第三次では、お気に入りの物語で作成した「人物ファイルカード」を使って物語を紹介し合う。選んだ物語が違うグループで交流する際は、並行読書記録カードも活用しながら交流を行う。自分がその物語を選んでいなくても、その物語を読んだ時、中心となる人物をどんな人物なのかまとめたものと友だちの発表を比べ、「僕は〇〇君と同じようにその人物のことをまとめたけど、根拠となる叙述はここなんだ。」というように、単に「人物ファイルカード」を紹介し合うだけでなく、その物語の文章に返って叙述を基に意見や感想を述べ交流できるように仕組んでいく。

本時では、豆太はどんな人物なのか、「人物ファイルカード」にまとめる学習を行う。まとめる前に、家庭学習を基に本文の中で豆太の性格や気持ちが変わるところにチェックを入れている文章はどこかペアで交流する。その際、「なるほど!」「同じだ。」といった共感、「自分と違うな。」といった気付き、「ここはどうか?」「そこは、・・・。」といった疑問・検討を意識させた上で交流を行わせていきたい。また、「人物ファイルカード」にまとめたことをペア・全体で交流する際は、交流を通して豆太の性格をとらえ、豆太の気持ちが変わっていることに気付かせたい。どの場面から根拠となる叙述を選んでいるかによって、「臆病」であったり「勇気」があったり、豆太の人物像は変わっていく。そのことで、この物語の中心人物は豆太であることを確認する。そのことが、次時の初めから終わりまで豆太に対する気持ちが変わらないじさまの気持ちを考える学習につながっ

ていくと考える。

(4) 研究テーマとの関連

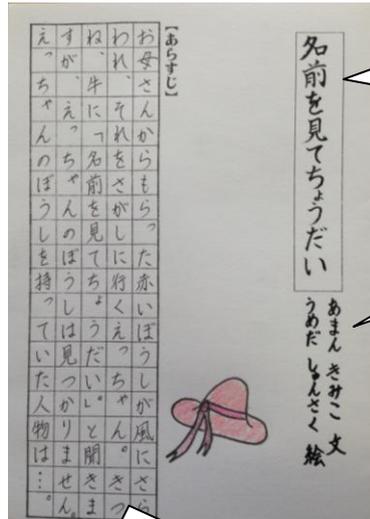
主体的に児童が学ぶためには、与えられた指示に従って学習を進めるのみではなく、児童自身が単元を通して学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで、第一次の1時間目では、児童が「自分にもできそうかも。」という思いを起こさせるように既習の内容も含まれたモデルを示し、単元のゴールイメージを具体的に示す。また、主体的に学ぶためには、児童が思考せざる得ない、思考したくなるような学習課題を設定する必要がある。自分の変容に気づくことができるような学習課題、ペアやグループの交流が必要な学習課題を設定することで、交流に対しての必要感をもたせながらかわり合う授業を仕組んでいきたい。交流は、今の自分の考えを見直したり、より確かなものにしていく場としたい。そのために、考えを構築する上での疑問や悩んでいることに対して友だちから助言をもらうなど、交流をする前には自分の考えをしっかりとらせた上で交流を行わせるよう仕組む。個人思考やペア・グループでの思考を深める手立てをとることで、自分の読みや考えを友だちに語るができる対話力、友だちの考えを自分の考えと比較しながら聴く力が身に付いてくると思われる。そういった力を必要とする交流の場を設定し、交流前・交流後の自分の考えを比較し変容に気づくことができた時には、そのペア・グループを取り上げて評価する。そのことがかわり合いの価値付けになり、自己認知力を鍛えることにもなる。交流に対する意識を高めることが協働的な学びにつながり、常に自分の考えを基に学習を進めていく姿が主体的な児童の姿だと考える。

4 単元の評価規準

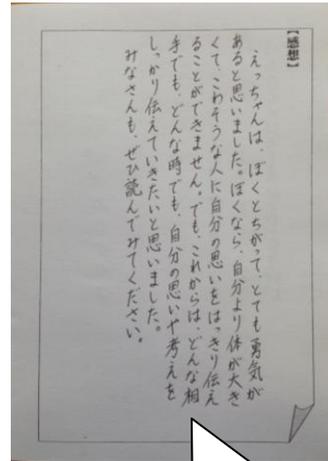
国語への 関心・意欲・態度	・「人物ファイルカード」で物語を紹介することに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。
読む能力	・叙述を基に、人物の性格や気持ちを想像しながら読んでいる。(ウ) ・自分が考える人物像や感想を伝え合ったりして、それぞれの感じ方に違いがあることに気付いている。(オ)
言語についての 知識・理解・技能	・長い間使われてきた慣用句の使い方を知り、使おうとしている。 ア(イ)

＜言語活動のモデル「人物ファイルカード」(「名前を見てちょうだい」のえっちゃん＞

【表紙】



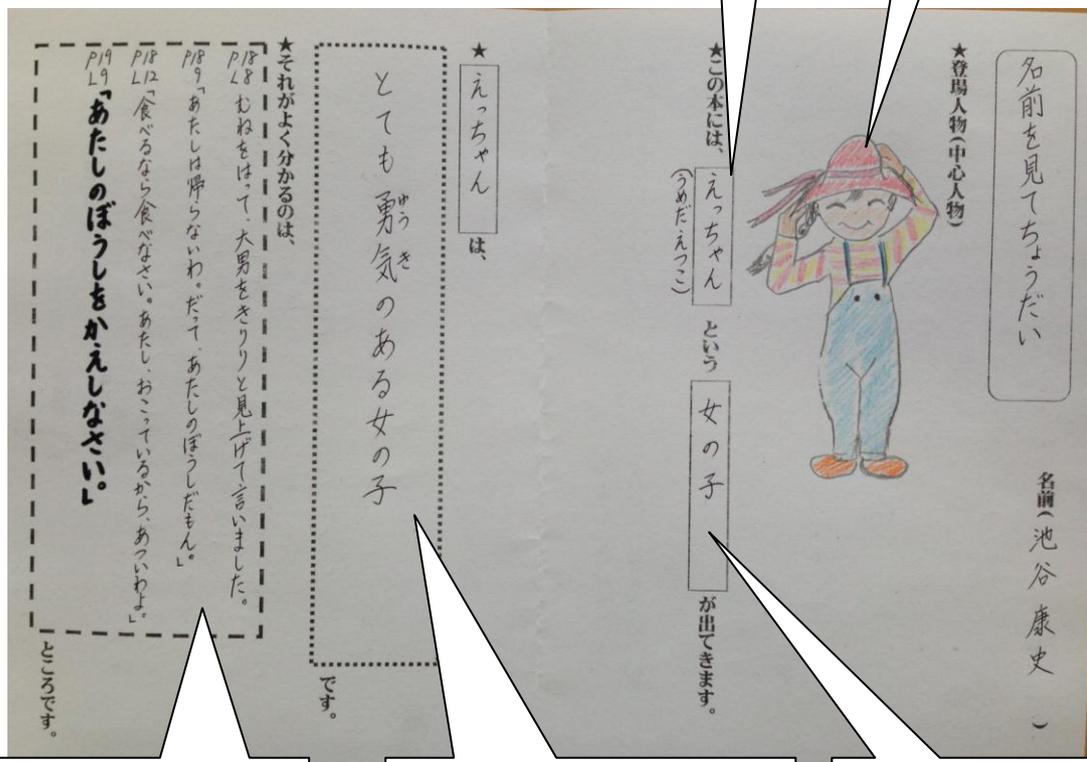
【裏表紙】



物語を紹介するためのあらすじを100字以上160字以内で書く。
【つながる教材】
「はりねずみと金貨」

この物語の中心人物がしたこと一番心に残っていることは何か、それについてどう思ったのかを書く。

【中】



自分の考えの根拠となる叙述を書く。(できるだけ多く、ページ数と行数も)

その人物についての自分の考えを書く。
【つながる教材】
「サーカスのライオン」

登場人物の主な属性(性別、年齢、職業、身体的特徴、境遇など)

5 単元構想図

単元を貫く言語活動

叙述を基に「人物ファイルカード」を作成し、お気に入りの物語を紹介する。

◇学習の流れ

第一次

- 学習への意欲と見通しをつかむ。
- 教師のモデルを見て、『「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介しよう』という学習のめあてをつかむ。

並行読書

第二次

- 登場人物を確認し、「モチモチの木」の大まかなあらすじをつかむ。
- 豆太がどんな人物か、「人物ファイルカード」にまとめる。
- じさまがどんな人物か、「人物ファイルカード」にまとめる。
- 医者様がどんな人物か、「人物ファイルカード」にまとめる。
- お気に入りの物語で「人物ファイルカード」を完成させる。

第三次

- 完成した「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介し合う。
- 学習の振り返りをする。

◇意識の流れ

【児童の実態】

時間的な順序、事柄の順序を考えながら、場面の様子を読み取ることに弱さが見られる。

- ・お気に入りの物語を「人物ファイルカード」で紹介するんだね。以前学習したことも生かすことができるね。
- ・早く並行読書の本を読みたいな。慣用句のことも意識して読んでいくぞ。

- ・登場人物は、豆太、じさま、医者様の3人だね。
- ・「モチモチの木」は、こんなお話だね。
- ・豆太は、こんな人物だね。
- ・じさまは、こんな人物だね。
- ・医者様は、こんな人物だね。
- ・交流して、自分と同じところや違うところがあることに気が付いたよ。
- ・交流のおかげで、考えが広がったよ。
- ・文章をもとにどんな人物か想像できたね。これまでの学習を生かして、今度はお気に入りの物語で「人物ファイルカード」を作るぞ。

- ・僕は、その物語を選んでいないけど、人物の性格のところは僕と同じだね。
- ・同じ物語を選んでいるけど、私と違うところがあるね。
- ・一人ひとり感じ方が違うんだね。

単元で付けたい力

- ・叙述を基に登場人物がどんな人物かを想像して読む力 【C 読むこと (ウ)】
- ・交流を通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付く力 【C 読むこと (オ)】

	8	<p>お気に入りの物語の「人物ファイルカード」を完成させよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> お気に入りの物語の「人物ファイルカード」を書く。(中心人物の性格や気持ち、その根拠となる叙述、感想) 	<p>【読】お気に入りの物語について登場人物の気持ちを想像しながら「人物ファイルカード」を書いている。 (「人物ファイルカード」)</p>
第三次	9	<p>お気に入りの物語を紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人物ファイルカード」を使って、お気に入りの物語を紹介し合う。(お気に入りの物語が違うグループ) 感想を交流する。 	<p>【読】「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介し合ったり、感想を伝え合ったりし、それぞれの感じ方に違いに気付いている。 (ノート、発言)</p>
	10	<p>お気に入りの物語を紹介し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人物ファイルカード」を使って、お気に入りの物語を紹介し合う。(お気に入りの物語が同じグループ) 感想を交流する。 単元の振り返りをする。 	<p>【読】「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介し合ったり、感想を伝え合ったりし、それぞれの感じ方に違いに気付いている。 (ノート、発言)</p>

7 学習の展開（全10時間）

第一次 1時間目（1/10）

(1) 目標 『「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介しよう』というめあてに興味をもち、これからの学習の見通しをもつことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点（○） 評価（☆）支援（※）
<p>かかわり合う授業</p> <p>1 ペアで既習の物語について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「サラダげんき」があったね。 ・「名前を見てちょうだい」があったね。 ・「サーカスのライオン」があったね。 ・「はりねずみと金貨」があったね。 </p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> これからの学習のめあてをつかもう。 </div>	<p>○これまでに学習した物語文には、どんなものがあったのか振り返り、本単元に向けての意欲化を図る。</p> <p>○「中心人物」という言葉を確認する。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 教師のモデルを見る。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2) 教師のモデルを見ての感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語のあらすじが書いてあった。 ・登場人物の性格が書いてあった。その理由は本文を使って説明していた。 <p>(3) 学習の流れをつかむ。</p> <p>(4) 教師の読み聞かせを聞く。</p> <p>(5) 並行読書について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの本、早く読んでみたいな。 ・あの本、前に一度読んだことがあるぞ。 <p>4 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介するんだね。 ・早くお気に入りの物語を決めたいなあ。 ・早く「人物ファイルカード」を作りたいなあ。 	<p>○教師作成の「人物ファイルカード」（「名前を見てちょうだい」のえっちゃん）を見せる。</p> <p>○内容について自由に出させる。</p> <p>○学習の流れを提示し、目的意識をもたせる。</p> <p>○「モチモチの木」を範読する。</p> <p>○並行して読む本を紹介する。</p> <p>○並行読書記録カードを配布し、記入の仕方も確認する。</p> <p>○学習の振り返りをノートに書く。</p> <p>○今日の学習のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをさせるようにする。</p> <p>☆『「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介しよう』というめあてに興味をもちこれからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 【関】（ノート、発言）</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>家庭学習</p> <p>モチモチの木は、どんな木なのか考えながら音読し、教科書にチェックを入れてくる。また、ページごとの行数も記入してくる。</p> </div>	<p>○次時は、モチモチの木はどんな木なのか想像する学習を行うことを伝える。</p>

第二次 1時間目 (2/10)

(1) 目標 叙述を手がかりにモチモチの木がどんな木なのか想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「人物ファイルカード」を書くために</p> <p>モチモチの木について知っていることを出し合ったり想像したりしよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>かかわり合う授業</p> <p>(1) モチモチの木は、どんな木か分かるところを本文から探し、ワークシートにペアでまとめる。 (ペア→全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こわい ・実がなる ・おどかす ・お化け ・豆太が名前を付けた ・美しい ・小屋のすぐ前に立っている。 ・昼は友達で夜はおそろしい <p>自力解決の場</p> <p>(2) 豆太にとってモチモチの木はどんな木なのか自分の考えをノートにまとめ、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は、お化け木のだと思います。理由はP129L5に「お化けええ」と書いてあるからお化けの木だと思います。 ・私は美味しい実がなる木だと思います。理由はP128L9に「ふかして食べると〜うまいんだ」と書いているからです。 ・私は勇気の木だと思います。理由はP131L3に「一人の子どもしか〜それも勇気のある子どもだけだ。」と書いているからです。 <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章をもとに考えることができたね。 ・交流して、新しい発見があったよ。 ・同じ木なのに見え方がちがっていたね。 	<p>○ワークシートを配布し、記入の仕方を確認する。</p> <p>○ペアで1枚のワークシートにモチモチの木がどんな木か協力して書き込ませる。(ページ数、行数も)</p> <p>※悩んでいるペアには挿絵を基に「この場面でモチモチの木のことが書かれている文章はある？」と尋ね支援する。</p> <p>☆文章を手がかりにモチモチの木がどんな木なのか想像しながら読んでいる。 【読】(ノート、発言)</p> <p>※悩んでいる児童には、「豆太はモチモチの木のことをどう思っているの？それは、どの文章から分かるの？」と尋ね支援する。</p> <p>○学習の振り返りをノートに書く。</p> <p>○今日の学習のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをさせるようにする。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 「モチモチの木」は、どんなお話か考えながら音読し、ノートに登場人物を書いてくる。</p>	<p>○次時は、「モチモチの木が」どんなお話か、あらすじをまとめる学習をすることを伝える。</p>

第二次 2時間目 (3/10)

(1) 目標 登場人物をとらえ、物語の大体をつかむことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介するために</p> <p>「モチモチの木」って、どんな物語かな？</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p> <p>○教師のモデルを提示する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 登場人物を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆太とじさまと医者様が出てくるね。 ・中心人物は豆太だね。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(2) 登場人物の状況や設定、物語の展開をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆太は五つの男の子で、夜中一人でせっちんに行けないほどの臆病者。 ・豆太は夜のモチモチの木を怖がっている。 ・じさまと二人暮らし。峠の獵師小屋に住んでいる。 ・ある真夜中、じさまが腹痛を起こした。 ・豆太は医者様を呼びに走って行った。 ・灯がついたモチモチの木を見た。 <p>自力解決の場</p> <p>(3) あらすじをまとめる。</p> <p>【例】</p> <p>とうげのりょうし小屋にじさまと住む五才の豆太は、夜はじさまといっしょでないとせっちんに行けないほどおくびょうだった。そのわけは、モチモチの木がこわくて。ある真夜中、じさまをおそうふくつう。医者様を、よばなくっちゃ！豆太は表戸をふっとばして走りだした。ねまきのまんま。はだしで。半道もあるふもとの村まで。医者様と一緒に…</p> <p>(4) ペア・全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件をきちんと満たしているね。 <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p>	<p>○家庭学習をもとに登場人物を確認させる。</p> <p>○中心人物は豆太ということを確認する。(どの場面にも登場している、気持ちが変わっているから)</p> <p>○語り手について知らせる。</p> <p>○物語が5つの場面で構成されていることを確認し、はじめ(1・2場面)・中(3・4場面)、終わり(5場面)の3つに分けられることを伝える。</p> <p>○あらすじをとらえるのに必要なことを確認する。(登場人物、時、場所、出来事、中心人物の境遇など)</p> <p>○ワークシートを配布する。</p> <p>○あらすじを書く上での条件を確認する。(①キーワードを使う【豆太、じさま、モチモチの木】、②100字以上160字以内でまとめる、③常体で統一して書く)</p> <p>☆登場人物をとらえ、物語の大体をつかんでいる。 【読】(ノート、発言)</p> <p>※悩んでいる児童には、「豆太はどんな子どもで、誰と暮らしている?」「この物語で起こった大きな出来事や事件は何?」と尋ね支援する。</p> <p>○3つの条件を満たしているのか意識しながら、友だちが書いたあらすじを聞くようにさせる。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 豆太は、どんな人物なのか考えながら音読し、教科書に豆太のことが分かるところにチェックを入れてくる。</p>	<p>○次時は、豆太はどんな人物なのか考えていくことを伝える。</p>

7 学習の展開 (全10時間)

第二次 3時間目 (4/10) 本時

(1) 目標 叙述を基に登場人物の性格や気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介するために</p> <p>豆太は、どんな人物かな？</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p> <p>○前時の学習の振り返りを紹介し、児童の意欲化を図る。</p> <p>○「人物ファイルカード」を配布する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 本文の中で、豆太について書かれているところはどこか確認し合う。 (ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じところをチェックしているね。 ・たしかにそこも豆太のことが分かるよね。 ・ねえ、この文章はどう思う？ <p>自力解決の場</p> <p>(2) 豆太がどんな人物か、「人物ファイルカード」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆太は、臆病者です。理由は、P127L2に「夜中には、～できないのだ。」と書いてあるからです。 ・豆太は、勇気のある子です。理由は、P134L6に「足からは血が出た。」と書いていて、じさまのために夜中必死に走ったからです。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) ペア・全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの場面の文章を理由にするかによって豆太の性格が変わっているね。 ・臆病→勇気がある→臆病ということから豆太の気持ちが変わっていることが分かるね。 ・変わっていない気持ちは・・・。 <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○君の意見を聞いて、(なるほど。)と思った。わけは～だからです。 ・最初のペアでの交流が役に立って、豆太の人物ファイルカードを書くことができた。 	<p>○教師のモデルを提示する。</p> <p>○交流のポイントを示す。</p> <p>○お互いが家庭学習でチェックを入れている文章がどこか、ページごとに確認していくようにさせる。</p> <p>○人物ファイルカードの記述の仕方を確認する。</p> <p>○根拠となる叙述は一つではなく、できるだけ多く挙げるようにさせる。</p> <p>☆行動や様子を手がかりに、豆太の性格や気持ちを想像しながら読んでいる。</p> <p>【読】(人物ファイルカード、発言)</p> <p>※悩んでいる児童には、「どの場面の豆太が心に残っている？その豆太のことをどう思う？」と尋ね支援する。</p> <p>○この物語の中心人物は、豆太であることを確認する。</p> <p>○豆太の行動からじさまやモチモチの木に対する豆太の気持ちを想像させる。</p> <p>○今日の学習のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをノートに書く。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 じさまは、どんな人物なのか考えながら音読し、教科書にじさまのことが分かるところにチェックを入れてくる。</p>	<p>○次時は、じさまはどんな人物なのか考えていくことを伝える。</p>

(3) 評価規準

B 概ね満足できる状況

◆ 叙述を基に豆太の性格や気持ちを想像しながら読んでいる。

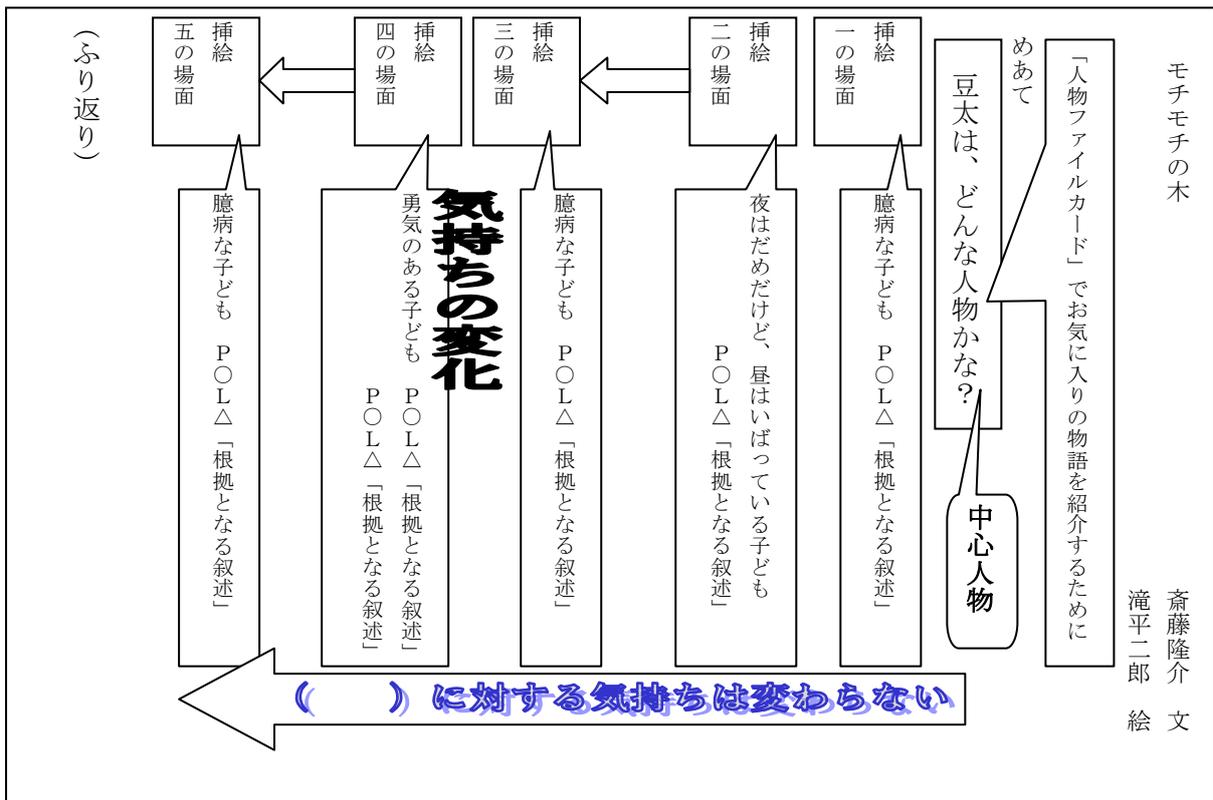
豆太は、勇気のある子どもです。そのことが分かるのは、P134L6に「足からは血がついた。」と書いていて、痛くてもじさまのために走ったからです。

A 十分満足できる状況

◆ 複数の叙述を基に豆太の性格や気持ちを想像しながら読んでいる。

豆太は、臆病だけど勇気がある子どもです。そのことが分かるのは、P126L1に「全く、豆太ほどおくびょうなやつはいない。」
P129L7に「夜のモチモチの木は、そっちを見ただけで、～出なくなっちゃう。」
P139L5に「それでも豆太は、～起こしたとき。」
P133L11に「医者様を、よばなくっちゃ！」
P134L11に「でも、大すきなじさまが～医者様へ走った。」
P136L1に「モチモチの木に灯がついている！」と書いていて、こわいけどじさまのために夜中の寒い中とうげを走って、勇気がある子どもだけが見ることができるモチモチの木に灯がともるところを見たからです。

(4) 板書計画



(5) 準備物

- ・ 各場面の挿絵

第二次 4時間目 (5/10)

(1) 目標 叙述を基に登場人物の性格や気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介するために</p> <p>じさまは、どんな人物かな？</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p> <p>○前時の学習の振り返りを紹介し、児童の意欲化を図る。</p> <p>○「人物ファイルカード」を配布する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 本文の中で、じさまについて書かれているところはどこか確認し合う。(ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じところをチェックしているね。 ・たしかにそこもじさまのことが分かるよね。 ・ねえ、ここの文章はどう思う？ <p>自力解決の場</p> <p>(2) じさまがどんな人物か、「人物ファイルカード」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じさまは優しい人です。理由は、P127L3に「ぐっすりねむっている～すぐ目をさましてくれる。」と書いていて自分のことより豆太のことを一番に考えていると思うからで <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) ペア・全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめから終わりまで、じさまの豆太を思う優しい気持ちは変わらないね。 ・じさまが考える「勇気」は、夜中一人で小便に行けることでも、モチモチの木を怖がらないことでもないんだね。 <p>3 慣用句について確認し、慣用句を使った文を作り、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つらい練習も歯をくいしばってがんばった。 ・マラソン大会の時、おなかが痛くなったけど歯をくいしばって走り切った。 <p>4 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇君の意見を聞いて、(なるほど。)と思った。わけは～だからです。 ・最初のペアでの交流が役に立って、じさまの人物ファイルカードを書くことができた。 	<p>○教師のモデルを提示する。</p> <p>○交流のポイントを示す。</p> <p>○お互いが家庭学習でチェックを入れている文章がどこか、ページごとに確認していくようにさせる。</p> <p>○人物ファイルカードについて記述の仕方を確認する。</p> <p>○根拠となる叙述は一つではなく、できるだけ多く挙げるようにさせる。</p> <p>☆行動や様子を手がかりに、豆太の性格や気持ちを想像しながら読んでいる。</p> <p>【読】(人物ファイルカード、発言)</p> <p>※悩んでいる児童には、「どの場面のじさまが心に残っている？そのじさまのことをどう思う？」と尋ね支援する。</p> <p>○豆太に対するじさまの気持ちは終始変わっていないことを確認する。</p> <p>○「ほっぺたが落ちる」「歯をくいしばる」それぞれの意味を確認して文作りをさせる。</p> <p>【言】(人物ファイルカード、発言)</p> <p>○今日の学習のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをノートに書く。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習</p> <p>医者様は、どんな人物なのか考えながら音読し、教科書に医者様のことが分かるところのチェックを入れてくる。</p>	<p>○次時は、医者様はどんな人物なのか考えていくことを伝える。</p>

第二次 5時間目 (6/10)

(1) 目標 叙述を基に登場人物の性格や気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 並行読書について確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">思考したくなる課題設定</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介するために</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">医者様は、どんな人物かな？</div>	<p>○並行読書記録カードで進捗状況を確認する。</p> <p>○単元のゴールイメージを共有し、本時へ向けて目的意識をもたせる。</p> <p>○「人物ファイルカード」を配布する。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 本文の中で、医者様について書かれているところはどこか確認し合う。 (ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じところをチェックしているね。 ・たしかにそこも医者様のことが分かるよね。 ・ねえ、ここの文章はどう思う？ <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">自力解決の場</div> <p>(2) 医者様がどんな人物か、「人物ファイルカード」にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医者様は優しい人です。理由は、P135L1に『豆太からわけを聞くと、～じさまの小屋へ上ってきた。』と書いていて、豆太の様子を見ておぶってあげたからです。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">かかわり合う授業</div> <p>(3) ペア・全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチモチの木に灯がともることのじさまと医者様のとらえ方に違いがあるね。じさまは勇氣の木だけど、医者様はそうじゃないね。 <p>4 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇君の意見を聞いて、(なるほど。) と思った。わけは～だからです。 ・最初のパアでの交流が役に立って、じさまの人物ファイルカードを書くことができた。 	<p>○交流のポイントを示す。</p> <p>○お互いが家庭学習でチェックを入れている文章がどこか、ページごとに確認していくようにさせる。</p> <p>○人物ファイルカードについて記述の仕方を確認する。</p> <p>○根拠となる叙述は一つではなく、できるだけ多く挙げるようにさせる。</p> <p>☆行動や様子を手がかりに、豆太の性格や気持ちを想像しながら読んでいる。</p> <p>【読】(人物ファイルカード、発言)</p> <p>※悩んでいる児童には、「医者様が豆太にしてあげたことは何？それをどう思う？」と尋ね支援する。</p> <p>○月の呼び方を確認する。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">家庭学習のサイクル化</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>家庭学習</p> <p>お気に入りの物語がどんな物語なのか、ノートにあらすじをまとめてくる。</p> </div>	<p>○次時は、お気に入りの物語で「人物ファイルカード」を作っていくことを伝える。</p>

第二次 6時間目 (7/10)

(1) 目標 叙述を基に登場人物の性格や気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介するために</p> <p>お気に入りの物語で「人物ファイルカード」を作ろう。</p>	<p>○全体で単元のゴールを確認し、これまでの活動のつながりをもたせて本時への意欲化を図る。</p> <p>○「人物ファイルカード」を配布する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) あらすじを書く上で必要な事柄は何か話し合う。</p> <p>(2) 「人物ファイルカード」に書く事柄を確認する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(3) 「人物ファイルカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のお気に入りの物語は「花さき山」だ。 ・この物語の中心人物は…。並行読書記録カードに書いていたのを活用しよう。 ・物語のあらすじは、昨日の家庭学習でやってきているからスラスラ書けるぞ。 ・このことは、あらすじに絶対入れないといけないぞ。 ・100字以上160字以内の条件で書くことができたぞ。 ・この本には○○という●●●が出てくるね。 ・人物の挿絵は、このページの挿絵を使うぞ。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう完成間近だ。明日は完成させるぞ。 ・他の友だちは、どんな風に行っているのか気になるな。 	<p>○家庭学習を基にお気に入りの物語が同じ子ども同士で、これだけは外せないことは何か話し合わせる。</p> <p>○教師のモデルを提示して、表紙には物語の題名・あらすじを書き、中面には中心人物の挿絵・その人物の性格・その根拠となる叙述を書き、裏面にはその物語で一番心に残ったところはどこか、なぜそこが一番心に残ったのか、その理由を書くことを確認する。</p> <p>○これまでの学習を想起させ、あらすじを書く時には、このことだけは絶対入れないとあらすじにならないことは何か考えさせた上で書かせる。また、これまでの学習をあらすじは、100字以上160字以内で書くという条件も確認する。</p> <p>☆お気に入りの物語について登場人物の気持ちを想像しながら「人物ファイルカード」を書いている。 【読】(人物ファイルカード)</p> <p>※あらすじを書く時に悩んでいる児童には、「この本には、どんな人物が出てくるの?」「この物語で大きな出来事や事件は何?」「その後どうなったの?」と尋ね支援する。</p> <p>○今日のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りを口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 その登場人物がどんな人物か、その理由となる文章はどこにあるのか、本を読んで、もう一度チェックしてくる。</p>	<p>○次時は、「人物ファイルカード」を完成させることを伝える。</p> <p>○付箋を配布する。</p>

第二次 7時間目 (8/10)

(1) 目標 叙述を基に登場人物の性格や気持ちを想像しながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介するために</p> <p>お気に入りの物語で「人物ファイルカード」を完成させよう。</p>	<p>○全体で単元のゴールを確認し、これまでの活動のつながりをもたせて本時への意欲化を図る。</p> <p>○「人物ファイルカード」を配布する。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 「人物ファイルカード」に書く事柄を確認する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(2) 「人物ファイルカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私のお気に入りの物語は「花さき山」だ。 ・この物語の中心人物は…。並行読書記録カードに書いていたのを活用しよう。 ・八郎は、○○な人だね。その理由はP●●L△とP●●L△に書かれているね。 ・昨日の家庭学習でチェックを入れているから、根拠となる文章をぱっと見つけることができるぞ。 ・ぼくは自分がしたいと思っていることでも、一人だけだと行動できません。でも、一平はちがいます。ぼくも一平のように、まわりに関係なく、自分が正しいと思ったことはこれからやっていきたいです。 ・同じ本を選んでいる○○さんは、どんな風に見えるのかな。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納得のいく「人物ファイルカード」が完成したぞ。 ・明日の交流が楽しみだ。 	<p>○教師のモデルを提示して、表紙には物語の題名・あらすじを書き、中面には中心人物の挿絵・その人物の性格・その根拠となる叙述を書き、裏面にはその物語を読んで一番心に残ったところはどこか、なぜそこが一番心に残ったのか理由を書くことを確認する。</p> <p>○これまでの学習を想起させ、根拠となる叙述は一つではなく、できるだけ多く挙げるようにさせる。</p> <p>○感想は、登場人物と自分とを比較し、その行動から今後自分が生かしていきたい、見習いたいことも書くことを確認する。</p> <p>☆お気に入りの物語について登場人物の気持ちを想像しながら「人物ファイルカード」を書いている。 【読】(人物ファイルカード)</p> <p>※悩んでいる児童には、「どこの場面の○○が好きなの?」「○○がしたことをどう思う?自分ならできる?」と尋ね支援する。</p> <p>○今日のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りを口頭で発表させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 交流に向けて「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介できるように練習してくる。また、誤字・脱字がないかチェックしてくる。</p>	<p>○次時は、「人物ファイルカード」を使って、お気に入りの物語を紹介し合うことを伝える。</p>

第三次 1時間目 (9/10)

(1) 目標 「人物ファイルカード」で相手にお気に入りの物語を意欲的に伝えようとしている。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">お気に入りの物語を紹介し合おう。</p>	<p>○全体で単元のゴールを確認し、これまでの活動のつながりをもたせて本時への意欲化を図る。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>(1) 個人で練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で練習してきたから大丈夫。 ・少し不安だな。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">かかわりあう授業</p> <p>(2) 「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕もこの中心人物は○○な人だと思った。でも、理由となる文章は違うなあ。 ・理由となる文章は同じだけど、中心人物がどんな人かの部分は少し違うなあ。 ・なるほど！○○さんは、そんな風を感じたのか。言われてみればそうかも。 ・僕はね、ここから●●な人だと思ったんだ。みんな、どう思う。 ・私はね、△△な人だと思ったんだ。だってね、……。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並行読書をしてきたことで、友だちの紹介がよく分かった。並行読書をしていてよかった。 ・明日の交流も楽しみだ。 	<p>○自信をもって、お気に入りの物語を紹介できるようにする。</p> <p>※「人物ファイルカード」にまとめたことを発表するので、自信をもって自分の気持ちを伝えることができるように傍で聞き、励まししながら支援する。</p> <p>○グループ・発表する順番を確認する。</p> <p>○並行読書記録カードを用意し、自分がその物語を読んだ時のことを想起しながら友だちの紹介を聞くようにさせる。</p> <p>○単に紹介して終わるのではなく、共感もしながら、紹介してくれたことに対して自分がその本を読んだ時のことを友だちに返していくことを意識させて交流させる。</p> <p>☆「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介し合ったり、感想を伝え合ったりし、それぞれの感じ方の違いに気付いている。</p> <p style="text-align: right;">【関】(発言、ノート)</p> <p>○今日のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをノートに書く。</p> <p>○数名の振り返りを紹介する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">家庭学習のサイクル化</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習 交流に向けて、もう一度お気に入りの物語を読み返してくる。</p> </div>	<p>○次時は、お気に入りの物語が同じ人とグループになり、「人物ファイルカード」を使って、お気に入りの物語を紹介し合うことを伝える。</p>

第三次 2時間目（10／10）

(1) 目標 「人物ファイルカード」で相手にお気に入りの物語を意欲的に伝えようとしている。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">思考したくなる課題設定</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">お気に入りの物語を紹介し合おう。</p>	<p>○全体で単元のゴールを確認し、これまでの活動のつながりをもたせ、また前時の振り返りも紹介し、本時への意欲化を図る。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">かかわりあう授業</p> <p>(1) 「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・僕もこの中心人物は○○な人だと思った。でも、理由となる文章は違うなあ。 ・理由となる文章は同じだけど、中心人物がどんな人かの部分は少し違うなあ。 ・なるほど！○○さんは、そんな風を感じたのか。言われてみればそうかも。 ・僕はね、ここから●●な人だと思ったんだ。どう思う。 ・私はね、△△な人だと思ったんだ。だってね、……。 <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章をもとに登場人物の気持ちを想像することができた。 ・○○について悩んでいたことがあったけど、交流をして●●だということが分かった。 ・並行読書以外の斎藤隆介さんの作品を読んてみたいな。 	<p>○グループ・発表する順番を確認する。</p> <p>○自分がその物語を読んだ時のことを想起しながら友だちの紹介を聞くようにさせる。</p> <p>○単に紹介して終わるのではなく、共感しながら、紹介してくれたことに対して自分がその本を読んだ時のことを友だちに返していくことを意識させて交流させる。</p> <p>☆「人物ファイルカード」でお気に入りの物語を紹介し合ったり、感想を伝え合ったりし、それぞれの感じ方の違いに気付いている。</p> <p style="text-align: right;">【関】(発言、ノート)</p> <p>○今日のめあてを確認し、めあてに沿った振り返りをノートに書く。</p> <p>○数名の振り返りを紹介する。</p> <p>○並行読書の物語の共通点や文章にあった慣用語について確認する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">家庭学習のサイクル化</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習 「人物ファイルカード」を使って、お家の人にお気に入りの物語を紹介し、感想をもらってくる。</p> </div>	<p>○作者が同じ本を読む楽しさを確かめ合い、叙述をもとに人物のことを想像するのは、道徳の学習でも生かすことができることを伝える。</p> <p>○付箋を配布する。</p>